

使ってみませんか

地域の農業を見て・知って・活かすDB

～農林業センサスを中心とした総合データベース～



活かすDBとは

活かすDBは、農林業センサス調査結果、他府省統計調査結果（国勢調査等）、行政情報（農業基盤情報、多面的機能支払等）などの各種データを全国約15万の農業集落単位に組み替えて編成したデータベースです。地域農業の現状をグラフや地図で見える化することや、国勢調査や行政情報と組み合わせることで分析することが出来ます。

データを
見て

国土数値情報
行政情報
農業集落
農林業
国勢調査

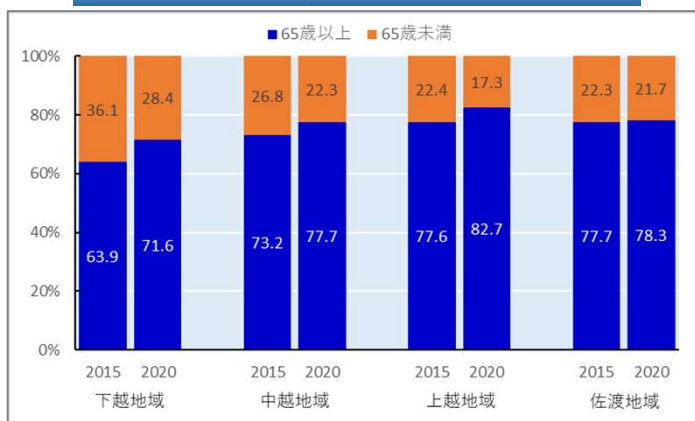
現状を
知って

地域に
活かす

活かすDBでできること

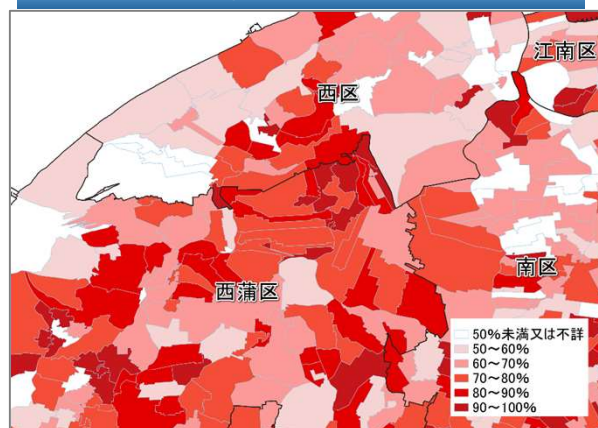
地域農業に関するデータをグラフや地図で見える化！

小地域別に作成した分析グラフ



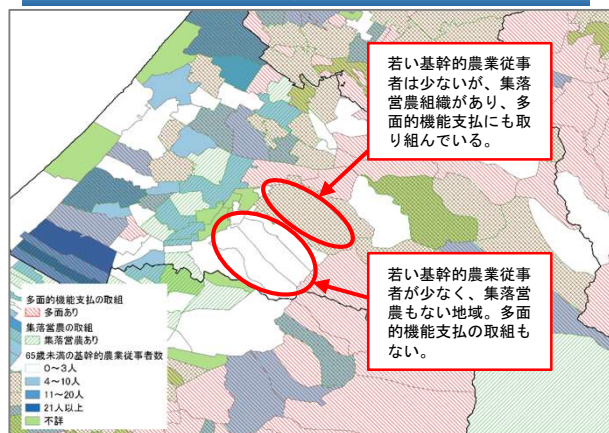
※ 基幹的農業従事者数割合の農業地域別の推移

分析結果を農業集落別に色分けした地図



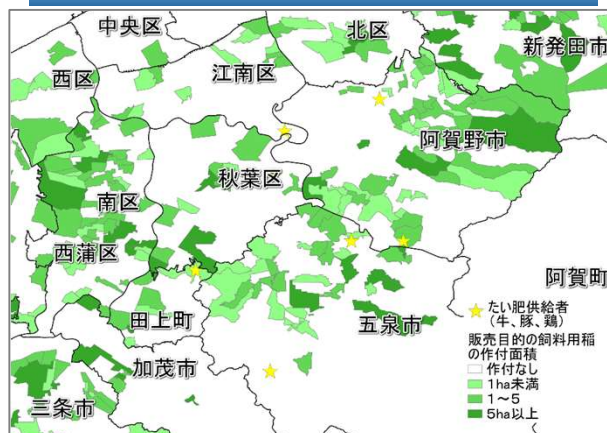
※ 65歳以上の基幹的農業従事者数割合

【高度利用】行政情報データを合成した事例



- ①多面的機能支払の取組
 - ②集落営農の取組
 - ③農林業センサス（65歳未満の基幹的農業従事者人数）
- 上記①～③のデータを重ね合わせることで、地域農業活性化に向けた施策推進を強化すべき農業集落を見える化することが可能

【高度利用】独自データを合成した事例



- ①たい肥供給者（牛、豚、鶏）
 - ②農林業センサス（販売目的の飼料用稲の作付面積）
- 上記①のリストをプロットし、②のデータを重ね合わせることで、たい肥供給者と飼料用稲の作付けの状況が見える化。耕畜連携の検討が可能。

令和7年2月発行